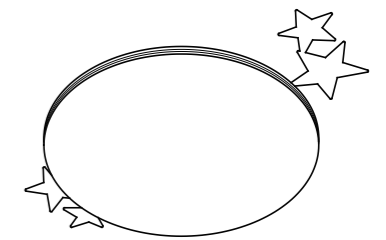


このたびは Motom (モトム) LEDシーリングライトをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



禁止マーク してはいけない内容です

指示マーク 必ず守る内容です

安全上の注意 お使いになるとき、人への危険や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。この「安全上の注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。

警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性がある内容です。

<p>必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●照明器具の取り付け、取り外しは、取扱説明書に従い確実に行う。 ●お手入れの際、主電源を切る。 火災や感電・落下によるケガの原因となることがあります。 	<p>必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vで使用する。 指定以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となることがあります。 ●異常を感じたら、速やかに主電源を切る。 異常状態がおさまったことを確認して販売店またはお客様相談室にご相談ください。 ●調光器やセンサー付きの壁スイッチは、一般の入切用壁スイッチに交換する。 火災や照明器具の故障の原因となることがあります。 (交換工事は、電気工事に依頼してください。資格が必要です。)
<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●布や紙など燃えやすいものを器具にかぶせない。 ●照明器具の隙間に金属類や燃えやすいものを入れない。 火災・感電の原因となることがあります。 	<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●照明器具の改造や部品交換をしない。 火災や感電・落下によるケガの原因となることがあります。



禁止 ●**下図の天井には取り付けない**。照明器具の落下の原因となります。

突出部 凹凸部 簡単にたわむ
突出部のある天井・凹凸のある天井 格子天井 変形天井
簡単にたわむ弱い天井

禁止 ●**下図の配線器具には取り付けない**。照明器具の落下・感電・火災の原因となります。

出しろ21mm以下の角型・丸型引掛シーリング 出しろ21mm以下 出しろ10mm以下の埋込ローゼット 出しろ10mm以下

配線だけのもの 破損しているもの 電源端子露出タイプ ガタつくもの ケースウェイに取り付いている

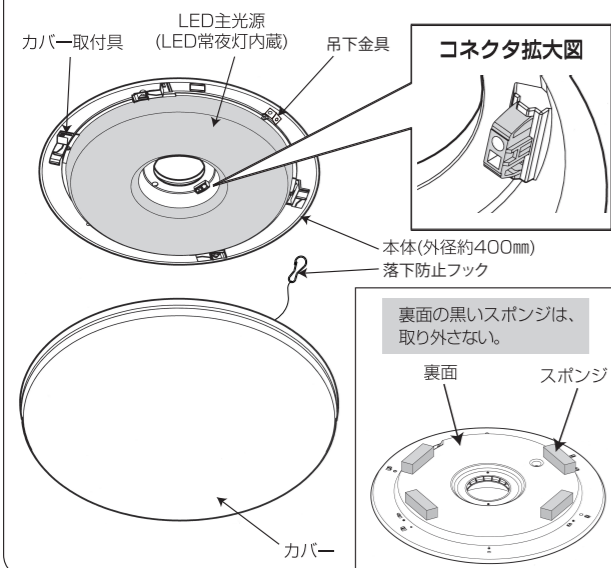
- 取り付け可能な引掛シーリングに交換してください。(ベニヤ板など、補強のない天井には取り付けしないでください)
- 交換工事は電気工事に依頼してください。(資格が必要です)

注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性がある内容です。

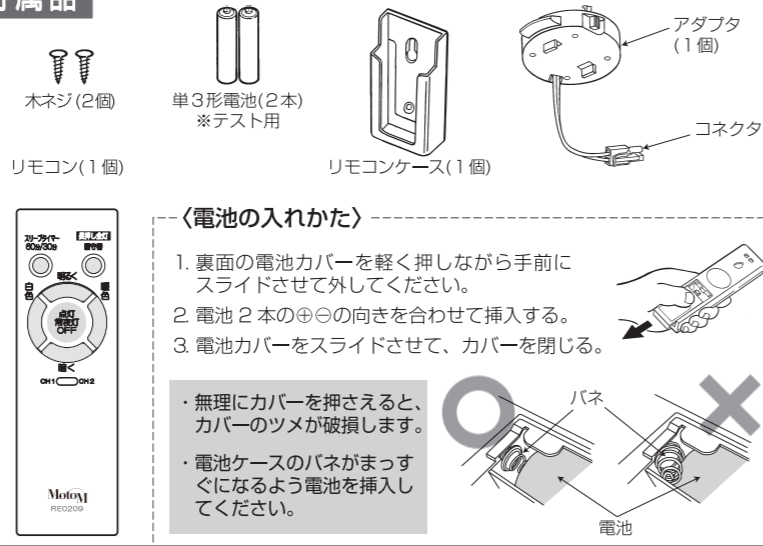
<p>必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。 ●1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。 「安全チェックシート」は当社ホームページ https://www.motom-jp.com/ に記載しています。 	<p>接触禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●点灯中や消灯直後は本体に触らない。やけどの原因となることがあります。 ●破損したカバーは直接手で触らない。ケガの原因となることがあります。
<p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。 ●お手入れの際、水洗いしない。 この製品は非防水のため、火災や感電の原因となることがあります。 	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●暖房器具の真上など、温度の高い場所で使用しない。火災の原因となることがあります。(この製品は、5℃~35℃の温度範囲で使用してください。) ●LED光源を直視しない。 目の痛みの原因となることがあります。

各部の名称

一部省略抽象化した共通部品図です。機種によってカバー形状などが異なります。



付属品



定格

量数	形名	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	※各点灯モード(色)の明るさ10段階時
~6畳用	MCL01606 【星】	AC100V	50Hz	30W ナチュラル	アクティブ 約25W リフレッシュ 約28W くつろぎ 約22W リラックス 約13W
	MCL01706 【蝶】		60Hz		約25W 約28W 約22W 約13W
~8畳用	MCL01608 【星】	AC100V	50Hz	35W ナチュラル	アクティブ 約30W リフレッシュ 約32W くつろぎ 約25W リラックス 約15W
	MCL01708 【蝶】		60Hz		約30W 約32W 約25W 約15W
~12畳用	MCL01612 【星】	AC100V	50Hz	45W ナチュラル	アクティブ 約38W リフレッシュ 約41W くつろぎ 約32W リラックス 約20W
	MCL01712 【蝶】		60Hz		約38W 約41W 約32W 約20W

●LED照明器具の光源の設計寿命は、40000時間です。
光源寿命とは点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
※40000時間は、照明器具の寿命を保証するものではありません。

●消費電力は常夜灯のみ点灯時には約2W消費し、リモコンOFF時には1W以下の消費となります。

使用上に関するお知らせ

- 精密機器のため、落下などの衝撃を加えないでください。
- 長期外出時は、節電のために壁スイッチをOFFにしてください。
- リモコンは、温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。
- 水、コーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。故障の原因となります。
- 電池寿命の目安(1日10回使用の場合)：マンガン電池(約6ヶ月)
- 付属の電池はテスト用です。新しい電池に交換してください。
- 充電式電池は使用しないでください。
- 電池は、+・-の極性を正しく入れてください。
- 長期間リモコンを使用しない場合、電池を外してください。電池の液漏れによる故障の原因となります。
- 未使用の電池と使用した電池、種類の異なる電池を混用しないでください。電池の液漏れによる故障の原因となります。
- LED光源は、お客様自身での交換はできません。
- 天井取付面の構造や材質により、取付面が変色などを起こす場合があります。

異常や故障ではありません

- 点灯中や消灯後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポツ・ポツ」という「きしみ音」や「摩擦音」が生じることがあります。
- 照明器具の近くでラジオやテレビ、リモコンなどの電気機器を使用されると、雑音が入ったり、リモコンを操作しても動作しない場合があります。
- 壁スイッチで電源を切った場合や停電の場合は、リモコンで操作しても動作しません。
- リモコンは信号が届く範囲内で、照明器具に向けて操作してください。(しゃべり物がある場合やリモコンを壁に取り付けた状態で、リモコンを操作を行うと、動作しない場合があります。)
- 天井や壁、床の材質によってはリモコンが反応しにくい場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品、同一適用畳数商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- チャンネル設定時などの確認音は、照明器具から鳴るため、ご使用環境などによっては聞こえにくい場合がございます。

お手入れのしかた

安全のため、必ず主電源を切ってしばらくしてから行ってください。
点灯中・消灯直後はLED光源や本体が熱いので、手や肌などをふれないでください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃してください。
- ・ベンジン、シンナーなど揮発性のもの拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。外郭強度の低下、変質、変色、故障の原因になります。
- ・照明器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。

- ・リモコン送信部は定期的にお手入れをしてください。汚れが付着すると、リモコンが効きにくくなります。

- ・カバーやリモコン等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取った後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

故障?と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは、下表を参考に調べてください。
下表以外の故障と思われる場合は、主電源を切り、お近くの弊社製品取扱店やお客さま相談室にご相談ください。(器具の形名(器具本体の器具ラベルに表示)と、お買い求め時期をお知らせください。)

症状	主な原因	処置方法
点灯しない	コネクタが正常に差し込まれていない。	「3.電源を接続する」を参照。(2ページ)
	壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。	壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。
	停電復帰機能が動作している。	壁スイッチコントロール機能を使用するか、リモコンのボタンを操作して点灯してください。(5ページ)
リモコンで操作できない ・タイマーを設定できない	壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。	壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。
	リモコンの電池残量が少なくなっている。	新しい電池に交換してください。(2個)(1ページ)
	リモコンの電池の向き(+,-)が間違っている。電池ケースのバネが曲がっている。	「電池の入れかた」を参照。(1ページ)
	リモコンの電池に充電式の電池を使用している。	新しい電池に交換してください。(2個)
勝手に点灯・消灯する	リモコンと器具本体のチャンネルが合っていない。	「4.チャンネルを設定する」を参照。(2ページ)
	他の家電製品(液晶テレビ)などからのノイズがリモコン信号に干渉している。	他の家電製品(液晶テレビ)などの電源を切ってください。
勝手に点灯・消灯する	「スリープタイマー」を設定している。	タイマーの設定を解除してください。(4ページ)
	「かんたん留守タイマー」を設定している。	タイマーの設定を解除してください。(4ページ)
勝手に明るさや点灯モードが変化する	デモモードに設定している。	4ページ「デモモードの解除方法」を参照。
勝手に暗くなっていく	「スリープタイマー」に設定している。	4ページ「スリープタイマーのフェードアウト機能」を参照。
チャンネルの設定ができない	確認音が聞こえない。	照明器具から確認音が鳴ります。聞こえない場合はカバーを外して設定をお試しください。
	リモコンの複数のボタンを同時に押している。	指先でボタンを正しく押してください。
	リモコンのボタン操作(長押し・短押し)が正しく操作できていない。	チャンネル設定(2ページ)の手順に沿って正しく操作してください。

商品のご購入に関するお問い合わせ

オリンピア照明株式会社
[オリジナルブランド MotoM]

TEL 03-5786-0745 平日 10:00~17:00(土日祝日除く)
FAX 03-5843-1381
URL <https://shop.motom-jp.com>
E-mail sale@olympia-jp.co.jp



その他・操作・仕様などに関するお問い合わせ

オリンピア照明株式会社
「MotoM お問い合わせ窓口」

TEL 0256-92-7070 平日 10:00~17:00(土日祝日除く)
FAX 0256-92-3312

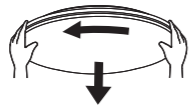
照明器具の取り外し方法

必ず主電源を切って、本体やLED光源部が冷えてから行ってください。

①カバーの外しかた

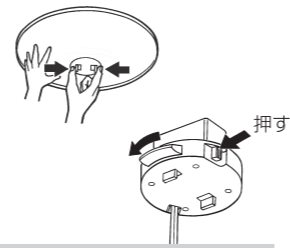
カバーを左(反時計回り)に回して外す。

カバーは無理にはずさないでください。
カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。



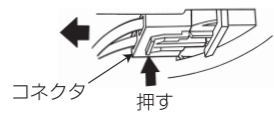
③本体の外しかた

本体を押さえながら本体中央アダプタのレバーを矢印方向につまむ。



②電源の外しかた

右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜く。



④アダプタの外しかた

アダプタの赤いボタンを押しながら左(反時計回り)に回す。

注意事項 ボタンを押さずに回すと配線器具が破損します。

デモモードの解除方法

確認音は照明器具から鳴ります。

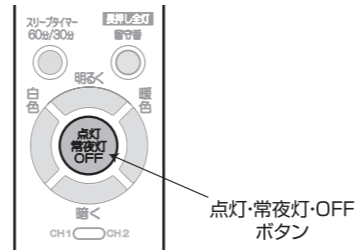
■LED主光源が自動で調光、点灯モード(色)の切り替えを繰り返す場合は、照明器具がデモモード状態になっています。(照明器具の故障ではありません)

下記の手順で照明器具のデモモードを解除してください。

- 約15秒以内に、確認音「ピピピ」が鳴るまで、**点灯・常夜灯・OFFボタン** を連打(10回以上)してください。
- 確認音「ピピピ」が鳴れば、デモモードの解除完了です。

注意事項

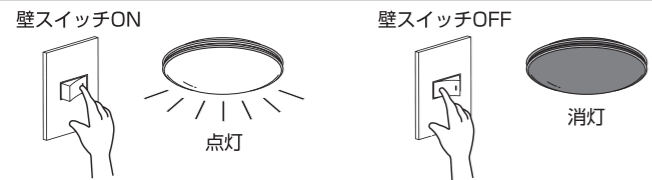
- 照明器具とリモコンのチャンネルが一致(設定は2ページ参照)した状態で行ってください。照明器具とリモコンのチャンネルが一致していない場合、デモモードの解除はできません。
- 確認音「ピピピ」が鳴らない場合は、解除できていません。再度、デモモードの解除を行ってください。
- デモモードが設定されていない状態で解除操作を行っても確認音「ピピピ」は鳴りません。



壁スイッチコントロール機能

壁スイッチで照明器具を操作できます。

点灯・消灯する

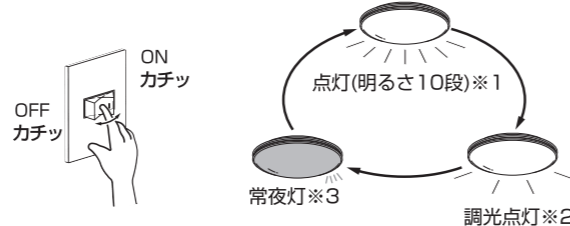


消灯時に記憶した点灯状態でスタートします。

消灯する直前の点灯状態を記憶して消灯します。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



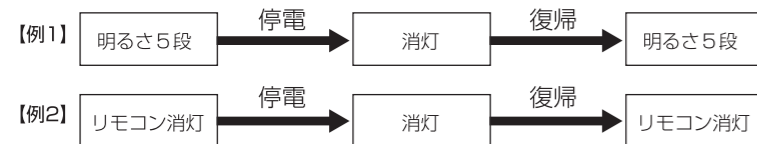
- ※1) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)
- ※2) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)と明るさ(明るさが10段の場合は6段)
- ※3) 最後に使用していた明るさ

注意事項

- リモコンで消灯させた状態で壁スイッチをOFFにすると、次に壁スイッチをONした時は消灯状態となります。
- 壁スイッチでは点灯モード(色)を切り替えできません。

停電復帰機能

停電(消灯)する直前の点灯状態に戻ります。



注意事項

- 落雷などによる短い停電(約2秒以内)が発生した場合、点灯状態が切り替わることがあります。
- かんたん留守タイマー設定中に停電した場合、タイマーは解除され、連続点灯状態になることがあります。

照明器具の取り付け方法

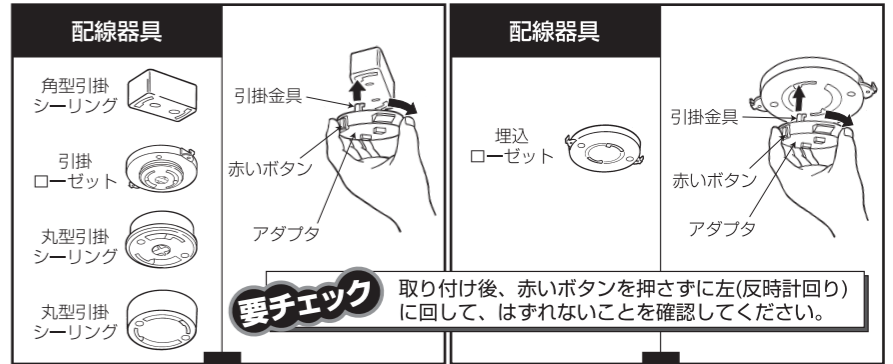
感電等の事故防止のため、必ず主電源を切って行ってください。

1 天井の配線器具を確認しアダプタを取り付ける

- 右図の配線器具であれば取り付け可能です。ガタつきや破損がないことを確認する。
- アダプタの引掛金具を配線器具に挿入し、右(時計回り)にカチッと音がするまで回す。
- 右図の要チェック内容を確認する。

警告

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



2 本体を取り付ける

配線器具の形状によって、取り付け方法が異なります。

- コネクタを本体中央の丸穴を通して、アダプタに本体の穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

本体裏面の黒いスポンジは取り外さない。本体が回転し、固定できなくなります。

- 右図の要チェック内容を確認する。

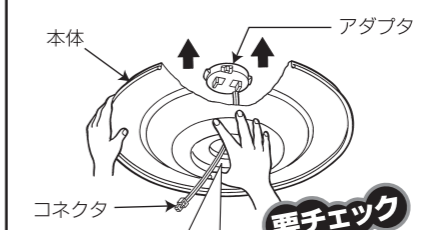
- 本体のグラつきがないことを確認する。これで本体の取り付けは完了です。

警告

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

2段押し上げ

2回(カチッ、カチッ)音がするまで押し上げる。

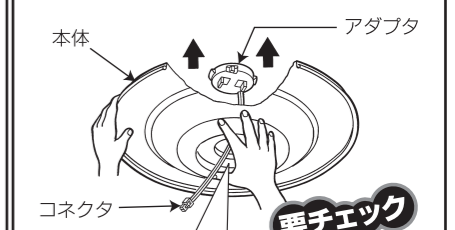


■本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。

■本体のグラつきがないことを確認する。

1段押し上げ

1回(カチッ)音がするまで押し上げる。

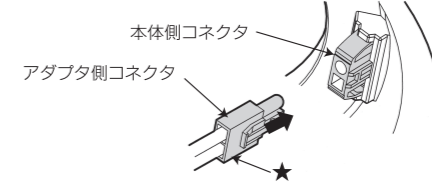


■本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えることを確認する。

■本体のグラつきがないことを確認する。

3 電源を接続する

- アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。
- ★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタの線を引っ張り、抜けないことを確認する。



※コネクタには方向があります。コネクタの○と□の向きを確認して差し込んでください。

4 本体のチャンネルを設定する (出荷時は、チャンネル1に設定しています。)

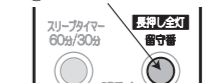
【準備】

チャンネルを変更したい照明器具以外は、壁スイッチ(主電源)をOFFにする。

【リモコン操作】

- 長押し全灯ボタン** を2秒以上、長押しして、全灯状態にする。
- CH切替スイッチ** をスライドして、設定したいチャンネル(CH1、CH2)を選択する。
- 点灯・常夜灯・OFFボタン** を3秒以上、長押しする。
- 照明器具から「ピーピピ」と音が聞こえたら指を離して、5秒以内にもう一度、**点灯・常夜灯・OFFボタン** を短押しする。(1秒以内に指を離す)
- 照明器具から「ピーピー」と音が聞こえたら設定は完了です。
※「ピー」のアラーム音がした場合、最初から操作をやり直してください。
- リモコンで照明器具を操作できるか確認してください。

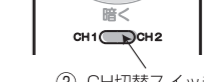
① 長押し全灯ボタン



② CH切替スイッチ

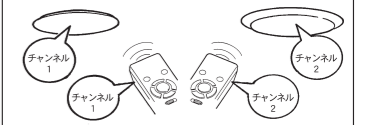


③④ 点灯・常夜灯・OFFボタン



■1つのリモコンで2台の照明器具を別々に操作できます。

1台目を「CH1」、2台目を「CH2」に設定する。リモコンのチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせて操作をしてください。



注意事項

- リモコンを照明器具に向けて設定してください。
- ボタンは指先で押してください。複数のボタンを同時に押すと設定できません。
- 確認音が聞こえにくい場合は、カバーを外して設定をお試しください。

5 カバーを取り付ける

※カバーを取り付けずにご使用にならないでください。

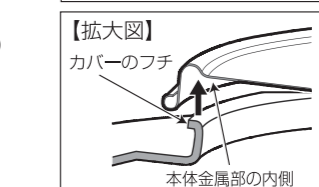
- 落下防止フックを本体の吊下金具に引っ掛ける。
- カバーを水平に持ち上げて、カバーの▲マークと本体の▲マークの位置を合わせてから、カバーのフチを本体金属部の内側にはめる。
- カバーを本体に押し当てたまま、しっかりと右に回して(カバーが回らなくなるまで)取付具のロック(カバー落下防止)が掛かれば取り付け完了です。

要チェック

- ▲マークの位置を合わせずにカバーをはめると、落下防止フックの紐が影になります。必ず▲マークの位置を合わせてください。
- カバーをゆっくり右に回すと、取付具にコツンと当たりますが、さらに右に回してください。
- 取り付け後、カバーを軽く左に回して、簡単に外れないことを確認してください。
- 事前に本体を床において練習いただくと、感覚が分かりスムーズに取り付けできます。



注意 本体の取付やカバーの着脱の際、飾りを持たないでください。飾りの変形の可能性があります。



警告

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。カバーは無理に取り付けしないでください。割れ・落下などによるけがの原因となります。

リモコンの操作方法

■必ず照明器具のチャンネルと合わせてご使用ください。

■壁スイッチ(主電源)がOFFの場合、リモコンでの操作はできません。ONにしてから、リモコンで操作を行ってください。

■確認音は照明器具から鳴ります。

① 調光ボタン(明るく/暗く)

お好みの明るさに調光できます。

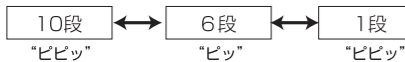
LED主光源「10段階」

■長押しすると連続で明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。
※長押し操作では、明るさ(6段階)の確認音は鳴りません。

■短押しすると1段階ずつ明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



LED常夜灯「7段階」

■長押しすると連続で明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。

■短押しすると1段階ずつ明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



リモコン送信部
必ず照明器具に向けて操作してください。

CH切替スイッチ
リモコン信号のチャンネルを切り替えられます。

点灯・常夜灯・OFFボタン
短押しすると、下記のように点灯状態が切り替わります。

※1) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)と明るさで点灯。
※2) 常夜灯は最後に使用していた明るさで点灯。

② 調色ボタン(白色/暖色)

お好みの点灯モード(色)「5段階」に切り替えができます。

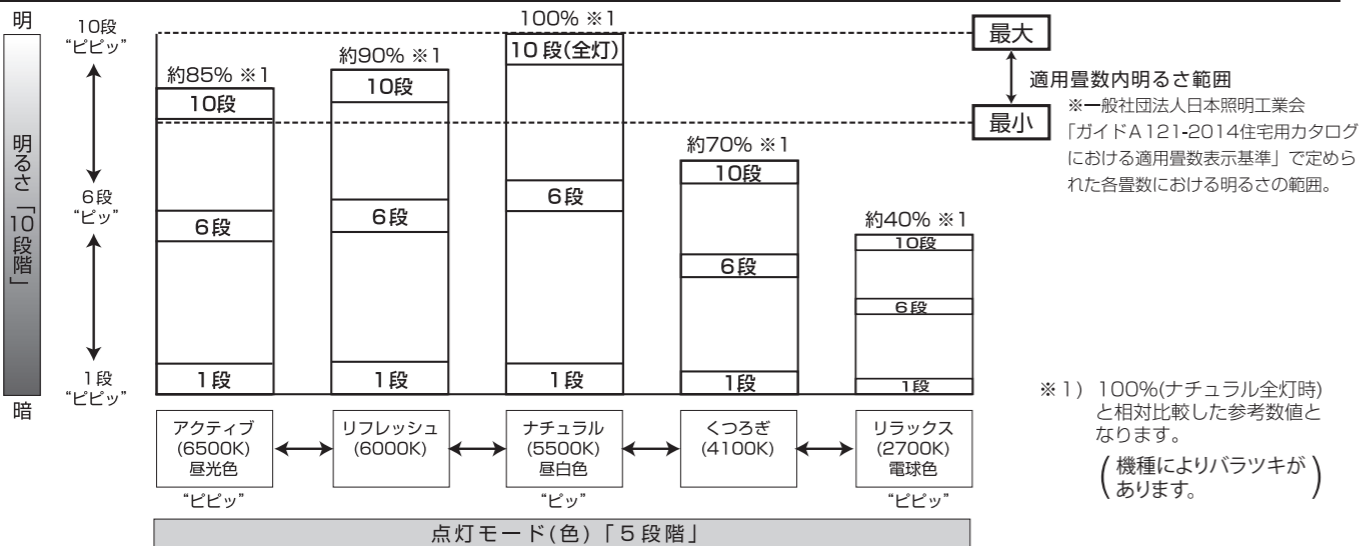
■長押しすると連続で点灯モード(色)が切り替わります。(確認音が鳴ります。)



■短押しすると1段階ずつ点灯モード(色)が切り替わります。(確認音が鳴ります。)



各点灯モード(色)の明るさイメージ



※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

③ スリープタイマーボタン(60分/30分)

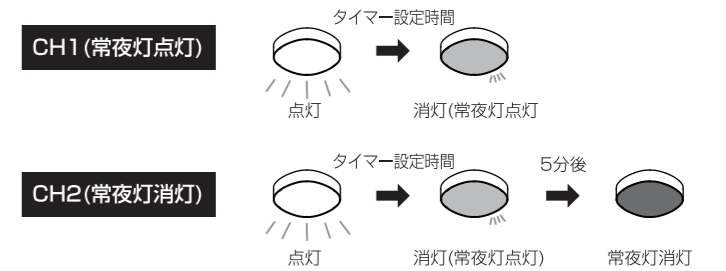
60分、30分の消灯タイマーを設定できます。

■60分後、または30分後に主光源を自動で消灯(※)することができます。

(※)フェードアウト機能 主光源が消灯する約10分前から徐々に暗くなります。

- 60分** ボタンを1回押す(確認音「ビッ」)
- 30分** ボタンを3秒以内に続けて2回押す(確認音「ビビッ」)
- 解除** タイマーが設定された状態でボタンを1回押す(確認音「ピーッ」)

■タイマー消灯後の『常夜灯の点灯/消灯』はチャンネル毎に下記のようになります。出荷時はチャンネル1に設定されていますので、ページ3「本体のチャンネルを設定する」を参照しチャンネルを選択してください。



④ かんたん留守タイマー・長押し全灯ボタン

かんたん留守タイマーの設定やLED主光源を全灯できます。

■長押し(2秒以上)すると、LED主光源が全灯(ナチュラル明るさ10段階)で点灯します。

■短押しすると、3パターンのかんたん留守タイマーを設定できます。

かんたん留守タイマーを設定すると、照明器具が自動で点灯/消灯を繰り返します。留守時に在宅を装うことができ、防犯面*1で安心です。面倒な時間設定が不要で、ボタンを押す回数に応じて待機時間*2を選択できます。待機時間後に留守タイマーが動作します。

※1) 侵入や盗難などを直接防止するものではありません。発生した損害については責任を負いかねます。
※2) 待機時間は3パターン。

設定方法

- 朝 外出前に** ボタンを1回押す(確認音「ビッ」) → 10時間待機 (常夜灯1時間 + 消灯9時間) ※4
- 昼 外出前に** ボタンを2回押す(確認音「ビビッ」) → 6時間待機 (常夜灯1時間 + 消灯5時間) ※4
- 夜 外出前に** ボタンを3回押す(確認音「ビビッ」) → 待機なし (すぐ開始)

留守タイマー作動中

※3) 消灯または常夜灯にする直前の点灯モード(色)
※4) タイマー設定完了をお知らせするため、常夜灯が1時間点灯します。

解除方法 ■タイマーが設定された状態でボタンを1回押す(確認音「ピーッ」)

注意事項

- リモコン以外では、タイマーを設定することはできません。また、タイマーの設定状態を確認する方法は、設定時の「確認音」のみです。
- タイマーの設定を変更する場合は、タイマーを一旦解除し再設定してください。
- タイマー設定時にリモコンや壁スイッチを操作したり、停電した場合は、タイマーの設定が解除されます。
- タイマーの設定時間や点灯・消灯パターンは変更することはできません。
- スリープタイマーとかんたん留守タイマーを併用して設定することはできません。
- タイマーには誤差があるため、連日でご使用の場合は動作時間のズレが大きくなります。